

今月の PICK UP



『もし幕末に広報がいたら』 鈴木 正義／著 日経 BP 674 ス

現役の企業広報の著者が、“もし幕末に現代の広報がいたら”という設定で、歴史上の出来事や人物を題材にプレスリリース（報道各社に対する公式発表）の事例を作成し、リスクマネジメント、テクニクなど5つのテーマ別に紹介しています。例えば、危機対応では「本能寺の変」を、テクニクでは「聖徳太子」をそれぞれ題材にし、対応や売り込み方を現代のビジネスにも通じるよう解説しています。誰もが知っている出来事・人物が、広報の内容次第でまた違った風に見えてくる、そんな楽しみ方もできる一冊です。

『図鑑を見ても名前がわからないのはなぜか？』 須黒 達巳／著

ベレ出版 460.7 ス



虫や植物など、自然物を調べて名前を確定することを「同定^{どうてい}」といいます。例えばバイオリンの教本を買っただけではバイオリンを弾きこなすことはできないように、図鑑をただ見るだけでは同定ができるようにはなりません。なぜ同定がうまくいかないのか？ どういうプロセスを踏めば同定ができるようになるのか？ 同定愛好者の著者が、同定と図鑑について熱く語ります。

司書の
おすすめ



『いまさら聞けない箸の持ち方レッスン』 中原 麻衣子／著 主婦の友社 596.8 ナ

箸の持ち方を学び直してみませんか。まずは、自分の手にぴったりな箸のサイズを決めてから、次に箸の持ち方、動かし方、はさみ方、そしてふるまいと4つのメソッドを順番に、1日5分のトレーニングを繰り返します。仕上げには、さまざまな食事シーンの箸づかいや所作を練習していきます。箸の持ち方が苦手な方も、美しい箸づかいができるようになるレッスンブックです。

さあ、チャレンジしてみませんか。



『夫婦別姓 家族と多様性の各国事情』 栗田 路子／他著 筑摩書房 324.8 フ



夫婦別姓が認められていない国日本。他の国の歴史と現状を7人の女性日本人ジャーナリストやライターが、それぞれ住んでいる7ヶ国の結婚後の姓についてレポートしています。世界には別姓が可能な国、原則別姓の国、別姓が認められていない国があります。そして国の成り立ちや法律の仕組みと関連して、国ごとに条件が少しずつ違います。

日本の戸籍制度にもかわる夫婦の別姓問題。他国と比較することで、日本のこれからが見えてきます。

『ネコは言っている、ここで死ぬ定めではないと』

春日 武彦、穂村 弘、ニコ・ニコレソン／著 イースト・プレス 114.2 ネ

精神科医と歌人が「死」をテーマにゆるく語り合います。「生まれ変わったらモノになって人の役に立ちたい」という願望や、「天国は本当にいいところなのか」などのふとした疑問、紹介される多くの文学者たちのエピソードや作品など、いずれも大いに興味をひかれます。

章ごとにはさまれる漫画では、対談する二人や飼い猫が実に楽しそうで、重くなりがちなテーマではありますがほのぼのとした気持ちになります。

